



シルバーだより

No. 286

平成 26 年 4 月 1 日

荒川シルバー大学

荒川区荒川 3-49-1

岡田 芳子

TEL 3801-5740

FAX 3801-5691

「平成 26 年度の出発にあたって」

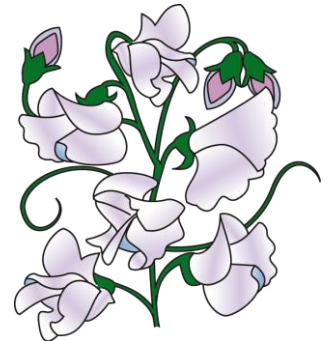
理事長 岡田 芳子

平成 26 年度が始まりました。開講・入学式が 4 月 14 日に举行されます。役員の皆様方が準備をすすめて下さっています。

ところで、この 3 月 18 日、平成 25 年度の閉講・卒業式が举行され、卒業生 82 名、奨励賞 35 名（10 年間学んだ方）が祝福を受けました。このほとんどの方がさらに学び続けます。うれしいことです。

開講式には晴れやかな姿を見せてくれることでしょう。

さて昨年度は、創立 30 周年という嬉しい伝統を引き継ぎ、様々な行事が盛大に行われました。なかでも創立 30 周年記念誌を発行することができ、学生の皆様にご協力いただきました。



30 年間の歴史と、現在学び続けられている学生の皆様の様子などが手に取るように分かります。新入生の皆様で 1 冊求めたいという方がいらっしゃいましたら事務室でお求めください。（1 冊 500 円です。）

その記念誌の中に「アンケートに見る荒川シルバー大学」というページがあります。908 名の在籍者のうち 742 名（81.7%）の方が回答して下さいました。

そのうちいくつかを挙げてみますと、①女性の通学者 84%、②86 歳以上 30 名（4%）、最高齢 96 歳、③16 年以上学ばれている方 48 名（7%）、④25 年度 4 教科以上受講 33 名（5%）、⑤入学の動機、生きがい・頭の活性化・健康、を合わせて 78% 等です。高齢化社会のなかにあって自分らしく生き、元気で生活していることに感謝し、人とのつながりを大切にしていきたいと思います。

いよいよ 5 月から各教室で学習が始まりますが、その学習の場は生涯学習センターのほか区の施設や民間の施設をお借りしています。

荒川区（区長 西川太一郎様・区議会・そして区の各部署の方々等）のご理解・ご協力のおかげです。自分自身のチャレンジ精神をほめ、他者に感謝する気持ちを大切に楽しく学び合ひましょう。

平成25年度学芸会報告

今年も元気な老人パワーの結集した16回目の学芸会が平成26年2月28日、サンパール荒川小ホールに於いて、後藤八重子、瀧澤百合子両氏の司会で開催されました。

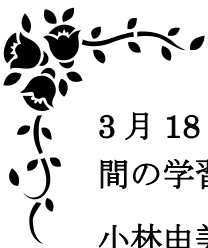
本年度は、シルバー大学開校30周年記念の年に当たり、記念行事に引き続き各教室とも創意工夫を凝らした1年間の、成果の発表が行われました。学生の皆様の熱気に押されたかのように、前日までの不順な天候も吹き飛び最高気温19度と春のような暖かな中で楽しいひと時を過ごすことが出来ました。

出席者は、一般の方20名、講師の先生23名、学生350名、計393名でした。昨年同様の出席数でしたが、今年は出演者達の交代と席の交代もスムーズに行われ、空席がほとんど見られませんでした。プログラムの進行もスムーズに運び、例年にない時間的な余裕も出来た学芸会になりました。

例年ご担当頂いている企画部長の宮澤健一氏が急病のため、慣れないメンバーでの運営となりました。学芸会開催に当たり例年以上に事前の綿密な計画、打合せや役割分担を行った結果、無事に終了できましたこと、関係の皆様のご協力の賜物と深く感謝いたします。それぞれ緊張した時間でしたが役割を終え、一同ほっとしております。

毎年、当たり前のように担当してご苦労頂いている宮澤氏（当日はお元気で参加）、講師の皆様、学生の皆様へこの場をお借りして感謝とお礼を申し上げます。来年も元気で迎えましょう。・・・・・・・・

(学芸会実行役員一同)



☆25年度奨励賞受賞者☆

3月18日に行われました平成25年度閉講式では、次の35名の方々に10年間の学習に対して奨励賞が授与されました。(敬称略)

小林由美子・鈴木みち子・八木慶子・恩幣きぬ枝・石塚ミイ・茂野タケ・阿部通子・隅田照子・菅とく・宮内たい子・佐野はる子・武田 咲・四方田節子・吉岡栄司・古川浩司・田中文子・辰野敏子・両角美子・藤原 晃・藤原公子・山田紀子・鳴戸由美子・浅香愛子・杉谷康男・藤間友美・横尾久枝・関 夏子・徳岡喜代子・小橋美智子・須田静江・小北好子・山崎幸雄・野口加津子・佐藤美智子・岡野光子 以上

3年目の3月11日に思うこと

平成23年3月11日の東日本大震災の日、私と主人は東京の親戚の家に居て、地震に遭遇しました。震度6弱と云う北茨城の強い揺れは経験せず、幸いだったと思います。我が家が心配になり、直ちに車で常磐道へ向かいましたが、高速道は通行止めになり、都内の道路は大渋滞、茨城行きは断念し都内を50キロも走り回り又親戚に舞い戻りました。

翌日昼過ぎ再度出発、やっと東京を抜け出し、12時間以上掛けて停電中の町中を通り我が家へ辿り着きました。玄関の扉も中で物が散乱し入るのに一苦労、手探りで懐中電灯を見つけ室内に入りましたが足の踏み場も無い程の散らかりようでした。明るくなるのを待つ事にし、仮眠しました。



翌日からは壊れた物の片付けに追われる中、福島原発の放射能漏れの報せに、北海道・東京・神奈川に住む子供達が心配し、直ぐに茨城を離れるよう説得されました。東海村原発が近くにあるのも気に掛かりましたので、衣類身の回り品をまとめました。主人は車のガソリンを求めに出かけましたが、長蛇の車の列、ガソリンは何時届くのか解らない状態で、2日ほど待ちました。備蓄の水も残り少なくなって来て、車のタンクには少しガソリンが残って居ましたので、思い切ってやっと開通した高速道で出発しました。サービスエリアで2000円分のガソリンを入れて貰えたので、どうにか東京に到着しました。其の後は子供たちの家を廻る毎日でした。

やっと自宅も水が出る様になったと知らせがあり我が家へ戻ると、二階の何処かで水道管が破裂したらしく、一階は水漏れで水浸し、台所の棚、押入れの布団もびしょり。天井の電灯も水の重みで落下し、地震よりもひどい状態になっていました。余震も多く、其の度に家がグラグラ揺れ、家も傾いて来てもうこの家に住むのは無理と決心し再度上京、友人宅を訪問した折、東京都で避難者向けに住宅の貸付があると聞き応募しました。

当選し、此処荒川区の町屋6丁目アパートへ引っ越す事が出来ました。荒川区は下町、人情の厚い町。近所の方々も皆親切で、色々心配して下さり、心細い気持ちで居た私共もすぐにこの町に溶け込む事が出来ました。荒川区社会福祉協議会様からの色々な支援を頂き、交流会等を通して、避難してきた方々とも知り合いになりました。このアパート内の集会所をお借りして、月に一回のミニサロンを開く事になり、胸に抱えている辛い事、悩み等を話し合う事で、少しずつ皆さんの表情も明るくなって来たと感じています。

その中、社協の鈴木課長様が荒川区のシルバー大学を紹介下さり、受講してみないかとお誘いを受けたのです。事務局の田原様を通してお話を伺い、以前茨城の合唱団で歌っていましたので、音楽教室に見学に参りました。



まだ受講するかどうかの決心は着いていませんでしたが、丁度テレビで放映していた「坂の上の雲」の主題歌「スタンドアローン」を皆さんが練習しているのを聴き“私もこの曲を歌ってみたい！”と心が動き、飯島純子先生にその日のうちに入学させて下さるようお願いしました。私より年長の方々が、皆楽しく元気に、そして何年も歌い続けているのを伺い、私も教室に通う度に元気を頂いています。

茨城の自宅も350軒以上ある住宅の中で、我家一軒が半壊被害に遇いました。建築会社とも2年以上に渡り度々交流をしましたが、築年数が12年目に入っていたので法的には責任を問えずじまいでした。空き家のまま放って置くのは近所の方々にもご迷惑をおかけするし、50年は住む事の出来た家は壊して更地に致しました。

地震に強い家をと望んで軽量鉄骨も打ち込んで建てた家でしたのに、その家が「重過ぎて1分以上も揺れた地震に耐えられなかった」との建築会社の見解でした。私共は納得しかねますが、いつまでもその思いを引きずって居ては前に進めません。津波ですべてを失った方、家があるのに帰れない方、私共よりもっと大変な事情を抱えた方々と身近に接して、まだまだ私共は幸せです。

思えば、あっと言う間の3年間でした。この間、荒川区の色々な行事「中でも区制80周年記念のミュージカル等」に参加させて頂き、子供達や大勢の方々との出会いは、喜び楽しみを味わい、今までに経験した事のない程の充実した3年間でした。

これからは私共の落ち着き先を探さなくてはなりませんので、今年度で音楽教室ともお別れさせていただくことになりました。年度途中での入学でしたのに卒業証書を頂くことが出来、恐縮しております。

これを励みに、これからも前向きに何かを学んで行きたいと思います。遅ればせながら、その節はシルバー大学の皆様から暖かいお気持ちを沢山頂きました。

誠にありがとうございました。どうぞ皆様も、これからは40周年を目指してお元気で学び続けて下さい。有難うございました。



(音楽教室) 34班 井餘田快子

感動のうちに終わった冬季オリンピック

第22回冬季五輪ソチ大会は、2週間の熱戦が繰り広げられ2月23日閉幕しました。鳥の様に飛ぶジャンプ、高く上がり空中でクルリクルリと回転するスノーボード、華麗に舞うフィギュアスケート、一つの石の行方を真剣な眼差しで追うカーリング、危険を伴う競技の数々に目を奪われ声援を送りました。これは寝不足になってもしっかりと見ようと思いながら、真夜中の戦いなので何時の間にかウトウトしてしまい、気がついたら終わっていたという残念な時もありました。



今回のオリンピックで特に印象に残ったのはジャンプの葛西紀明選手でした。20年以上も挑戦し続けレジェンドの称号を冠されました。メダルを胸に喜ぶ姿が感動的でした。

選手の皆さんは競技の後のインタビューに口々に答えていました。「支えてくれた人たちに感謝」「応援してくれた人たちに恩返しをしたい」と。オリンピックの舞台に立ちたいとの目標に向かって、10年15年と過酷な努力を続けてきました。その間、精神的にも金銭的にも支えてくれた家族やコーチ、所属する企業、声援を送り続けてくれた多くの人達への、心からの言葉であったと思います。

東日本大震災から3年、復興が遅れている被災地への思いが伝わる応援メッセージでもありました。



“人は誰かのために努力する時、大きな力を発揮する” 誰の言葉だったか、この五輪を観戦しながら沢山の感動とドキドキ、ハラハラの緊張感を貰い、そして新しい種目を知ることが出来ました。未だに余韻を楽しんでいます。

9班 井口和子

.....

フラダンス教室 発表のお知らせ

会場：文京シビックセンター 大ホール
日時：4月12日(土) 15:30分 出演
骨髄バンクのステージに参加します。皆さん、
ぜひご覧くださいね。



4 月 の 行 事 予 定



14日(月)	平成26年度 開講・入学式	
一部 <ul style="list-style-type: none"> 1. 開式のことば 1. 敬礼 1. 理事長挨拶 1. 学長式辞 1. 来賓祝辞・紹介 1. 新受講生誓いの言葉 		<ul style="list-style-type: none"> 1. 校歌斉唱 1. 閉式のことば 1. 敬礼 二部 <ul style="list-style-type: none"> 1. 講師の紹介・挨拶 1. 班編成と役員紹介
会場：サンパール荒川 1階 (大)ホール 開式：午後2時		

◆◆◆◆◆ 学 園 日 誌 〈3月〉 ◆◆◆◆◆

- | | |
|---|--|
| 4日 役員会(募集申込み状況、
閉講・卒業式について他)
7日 卒業証書・奨励賞、式出欠
確認(地区班)
14日 新年度「学校案内」印刷
14日 国旗・校旗・徽章・式次第
横断幕準備確認 | 11日 サンパール荒川卒業式打合せ
18日 平成25年度閉講・卒業式
第28回卒業生82名
第21回奨励賞受賞者35名
21日 新年度「規約・名簿」作成
25日 シルバーだより286号作成
31日 講師会 |
|---|--|

※ 事務局だより ※

① 役員会 4月1日(火)：開講式のご案内・学校案内(教室1回目の持ち物プリント含む)・ファイル・保存袋・シルバーだより4月号配付・・・「規約・名簿」は後日配付

② 開講・入学式 4月14日(月)午後2時～：持参する書類

開講式のご案内 カード：葉書大(新入生=白色、継続受講生=水色)

サンパール荒川大ホール受付にて各班長にカードを提示の上**祝菓子**をお受け取りください。

学校案内 P2.校歌の楽譜=式典・講義時には必携！(合唱します)

③ 各教室の練習について：各教室の練習は、5月から始まります。

※受講生の皆様へ：大切なお知らせは、毎月この誌面に掲載致します。

(事務所) TEL 03-3801-5740 FAX 03-3801-5691

(ホームページアドレス) <http://www.arakawa-silver.com/> 室長 田原